



ライトアップされた見返り坂

築城420周年を記念した「丸亀城420フェスタ」
秋の夜空の下、幻想的にライトアップされた丸亀城

9月定例会 9月1日～10月5日

主
な
内
容

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| ● 本会議のあらまし …………… 2 | ● 一般質問 …………… 8 |
| ● 質疑・討論 …………… 3 | ● 国旗及び市旗掲揚条例…………… 12 |
| ● 請願審査結果 …………… 3 | ● 解説決算審査…………… 13 |
| ● 委員会審査 …………… 4 | ● 議会の動き 編集後記…………… 13 |
| ● 議案の内容 …………… 6 | ● 常任委員会視察…………… 14 |
| ● 審議した議案とその結果 …………… 7 | ● 議会報告会のお知らせ…………… 16 |

9月定例会

平成28年度決算を不認定

補正予算など原案を可決

本会議の あらまし

市議会9月定例会は、9月1日から10月5日まで35日間の会期で開かれました。

初日はまず、請願第7号「日本政府に「核兵器禁止条約」の調印を求める意見書」の提出を求める請願」を総務委員会に付託



起立少数で決算不認定

し、続いて平成28年度の一般会計及び各特別会計決算認定議案と議案第62号、第63号の企業会計の利益の処分及び決算認定議案が上程され、予算決算特別委員会を設置し、審査することになりました。

その後、議案第64号から第74号までを一括議題とし、市長から提案理由の説明がありました。5日は、提出議案について2名が質疑を行い、さらに各常任委員会ですく審査することとしました。

常任委員会は、都市経済、教育民生が6日に、生活環境、総務が7日にそれぞれ行われ、議案と請願の審査が行われました。

12日は、各常任委員長から委員会の審査結果について、議案はいずれも原案承認、請願は不採択との報告がありました。

1名から議案第74号に反対、請願の採択を求める討論、1名

から請願の不採択を求める討論があったため、同議案と請願をほかの議案と分離して起立による採決を行い、議案は原案のとおり可決、請願を不採択としました。残りの議案は全会一致で可決しました。

その後、15日まで市政全般について17名が一般質問に立ちました。

20日から26日までは予算決算特別委員会が開かれ、決算議案の審査が行われました。

10月5日の最終日は、特別委員会に付託していた決算の審査結果について、委員長から認定第1号の生活環境部に係る部分是不承認、その他は原案承認との報告がありました。

1名が認定第1号に反対、1名が同議案に賛成、1名が認定第1号、議案第62号、第63号について反対討論を行ったことに伴い、同議案を起立により採決し、認定第1号は賛成少数で不認定、議案第62号、第63号は賛成多数で認定しました。

次に、議案第75号が提案され、審議の後、可決しました。続いて議員提出議案第2号が提案され、1名が反対討論、1

名が賛成討論を行ったことに伴い、起立による採決を行った結果、賛成多数で可決しました。最後に議員派遣第2号について可決後、今期定例会を閉会しました。

予算決算特別委員会を設置し 決算について集中審議

平成28年度の決算について、議長と議員選出の監査委員を除く全ての議員を特別委員に選び、延べ5日間にわたり審査しました。

(◎委員長 ○副委員長)

予算決算特別委員会

◎三宅 真弓	○内田 俊英
武田 孝三	竹田 英司
東 由美	中谷真裕美
神田 泰孝	岡田 剛
大西 浩	香川 勝
川田 匡文	真鍋 順穂
多田 光廣	横田 隼人
小橋 清信	横川 重行
松浦 正武	加藤 正員
山本 直久	大前 誠治
水本 徹雄	国方 功夫
片山 圭之	

議案に対する

質疑

質問者・項目

太字の項目は要約文を掲載

加藤 正員

①一般会計補正予算（私立保育園援助費）②財産の取得、無償貸付け（ほんじま丸）③香川県広域水道企業団の設置
中谷真裕美

①一般会計補正予算（ふるさと応援寄附金、ふるさと納税事業、私立保育園援助費）②香川県広域水道企業団の設置

水道広域化

今後の見通しは

【加藤議員】水道広域化後の治水対策、水道料金、水道工事などの窓口業務体制はどうなるのか。

【水道部長】治水時には、通常時の水源に加え、浅井戸などの予備水源や香川用水調整池である宝山湖など、緊急用の水源を

活用するので、安定供給に支障はないと考えている。水道料金は、平成40年度に県内で統一を

予定しており、財政シミュレーションでは、その際に300円ほど値上がりする見込みである。窓口業務は、広域化後2年間は現状のまま行い、その後は中讃の業務を集約するセンターが設置される予定である。

ふるさと納税

効果的な活用を

【中谷議員】ふるさと応援寄附金の充当先として、寄附者が多く選んでいるメニューは何か。またその金額はどのくらいか。寄附額も大きくなっており、その年度に消化してしまうのではなく、基金化をしてさらに効果的な使い方を検討してはどうか。

【市長公室長】8月末現在で寄附額の多い順に、子供たちの教育に関する事業3299万円、市長が選んだ事業1177万円、丸亀城を守り後世に残す事業734万円で、ふるさと納税の総額は約6600万円となっている。寄附金の基金化は可能

だが、本市では基金の新設はせず、既存の基金に積み立てをしている。

討論

議案に

賛成×反対の
意見を表明します。



議案に対する討論

《反対討論》

中谷真裕美

①認定第1号 一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定（塵芥処理管理費、人権問題関連委託料、民間委託）②議案第62号 水道事業会計利益の処分及び決算の認定③議案第63号 モーターボート競走事業会計利益の処分及び決算の認定④議案第74号 広域水道企業団の設置

《反対討論》

小橋 清信

①認定第1号 一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定（塵芥処理管理費）

《賛成討論》

加藤 正員

①認定第1号 一般会計及び各

特別会計歳入歳出決算認定

請願第7号に対する討論

《採択を求める討論》

中谷真裕美

理由 日本は唯一の被爆国として条約に参加し、核廃絶を目指すべきである。

《不採択を求める討論》

山本 直久

理由 条約はかえって核保有国と非保有国の対立を深めるおそれがある。



請願審査結果

日本政府に「核兵器禁止条約の調印を求める意見書」の提出を求める請願

新日本婦人の会

丸亀支部長 細谷 國子



委員会審査

一般会計補正予算など、 各常任委員会では原案承認

平成28年度決算は一部不承認

本会議で常任委員会と特別委員会に付託された議案と請願は、6日に都市経済と教育民生、7日に生活環境と総務委員会、20～22日、25～26日に予算決算特別委員会が開かれ、市長や副市長、担当部課長などが出席し、審査しました。
主な質疑は次のとおりです。

都市経済委員会

主な質疑

- 香川県広域水道企業団の設置により、どのような事務体制となるのか
- 新市民会館の基本構想策定の期間はどれくらいか
- 新市民会館の基本構想策定により、市民にどのようなことを

教育民生委員会

主な質疑

- 伝えることができるのか
- 委託する公共下水道の対象施設数は
- 議案について討論はなく、原案のとおり承認しました。
- 綾歌中学校のプールを改築により50メートルから25メートル

生活環境委員会

主な質疑

- に変更するが、関係者に十分な説明を行っているのか
- プール観覧席には、待機している児童への紫外線対策を施しているのか
- 介護保険給付費準備基金は、次期介護保険料を見積もる際の保険料を抑制するために取り崩すべきと考えるが、市の考えは
- 私立保育園等援助費によって補助を行う保育支援者とは、具体的にどのような業務を行うのか
- 私立保育園等援助費を活用しない保育園もあるが、援助費を支給出来ない理由はあるのか
- 議案について討論はなく、原案のとおり承認しました。
- 連携・協力モデル事業とは、現在行っている通信指令システムの共同運用の継続事業と捉えてよいのか
- 出動件数が少ない特殊車両を近隣の市町と共同で持ち、財政

総務委員会

主な質疑

- 的な負担を減らす考えはあるか
- 里浦港待合所は潮風等により損傷しやすいが、早めの手立てを考えているのか
- 城北コミュニティセンターの駐車場整備は、交通に支障のない計画を考えているのか
- 議案について討論はなく、原案のとおり承認しました。
- 綾歌市民総合センターの耐震改修工事によって、どの程度の長寿命化が図れるのか
- 綾歌市民総合センター耐震改修工事の際、多目的トイレに大人のおむつ交換台を設置する予定はあるのか
- ふるさと納税の返礼品は、どのような考え方で額を決めているのか
- 議案について討論はなく、原案のとおり承認しました
- 請願第7号には採択と不採択の討論があり、挙手採決の結果、不採択としました。

予算決算特別委員会

主な質疑

- 老人クラブの事務局体制の考えは
- 市民後見推進事業の内容と実績は
- 敬老祝い金の見直しについて市の見解は
- 瀬戸内国際芸術祭の本市への経済波及効果はどれほどか
- 地籍調査の閲覧率が低下しているが、こういった周知方法をとっているのか
- 美術館指定管理委託料に見合う成果がないと感じるが、市の考えは
- 消防団員退職報奨金の支払い状況及び退職状況、退職団員の補充をどう考えているのか
- 離島救急患者搬送委託料の実績及び今後の救急搬送の考え方は
- 選挙管理委員会費中の中讃広域行政事務組合負担金の内容及び選挙啓発事業費の内容は
- 市税の過年度徴収の重点取り

組みと今後の考え方は

○パープルリボンキャンペーンの評価及び今後のPR等の取り組みは

○小水力発電の決算額及び発電設備の減価償却費は

○島しょ部の有収率、修繕工事、海底配水管の状況及び今後の島しょ部での水道事業の対応

○老朽危険空き家の撤去事業の実績は

○車両無線システム導入のメリットは

○塵芥処理管理費の職員給与等に含まれる時間外勤務手当は大幅に減額できるのに、なぜ改善が見られないのか

○浜町アーケード撤去工事の進捗状況と今後の予定は

○公園ボランティア団体の数が減少している理由は

○道路側溝の清掃状況は

○みちあかりプロジェクトのさらなる周知とともに、こんびら街道を含めて近隣の市町と連携する考えは

○留守家庭児童会の支援員は適切な加配ができているのか

○丸亀城跡防犯カメラ設置の効果は

○児童図書の購入は、どのような

な基準で行っているのか

○ファミリーサポートセンター業務委託料が前年より100万円減額となっている理由は

○児童相談件数及び児童虐待対応件数が増加している理由

○ボートレース事業会計の雑支出が前年度より大きく増加している理由は

○ボートピアの売上げが減少しているが、将来的にボートピアをどのようにするべきと考えているのか

○電話での脅迫でレース中止という事案があったが、電話対応での対策は

○防災アドバイザーに自衛隊OBを登用しているが、今後も継続するのか

○社会人大学院丸亀創生塾新明倫館は、国の進める地方創生の趣旨に合致しているのか。また、起業に結びついていない卒業生へのフォローはしているのか

○市民相談室のあり方を見直すべきとの意見も多いが、どのように考えているのか

○他市からの行政視察はどのような項目での受け入れがあったのか

本会議インターネット中継!

市議会本会議の生中継と録画配信をしています。
中讃ケーブルテレビの放送もハイビジョン化!
さらに見やすく、いつでも見られる市議会を目指します。

市ホームページ
トップ左列

●丸亀市議会

→ インターネット中継(外部リンク)

クリック



議案の内容

議案の内容・結果

▼認定第1号 一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定

歳入歳出決算について監査委員の審査を経たので、地方自治法第233条第3項の規定により、議会の認定を得るもの

▼議案第62号 水道事業会計利益の処分及び決算認定

競走事業会計利益の処分及び決算認定

地方公営企業法第32条第2項の規定により、決算に伴う利益剰余金を処分することに議会の議決を求め、あわせて同法第30条第4項の規定により、決算について監査委員の審査を経たので、議会の認定を得るもの

▼議案第64号 一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ5億5444万円を追加し、予算総額を411億6821万円とするもの。主な内容は、ふるさと納税の謝礼に要する費用1700万円、城北コミュニティセンター

駐車場整備事業費1190万円、牛島里浦港待合所改修費680万円、耐震化工事を実施する私立認可保育園の計画変更により補助金6004万4000円を追加措置するほか、新市民会館の基本構想に取り掛かるための事業費848万円など。これらの財源として、国・県支出金、寄附金、市債及び前年度繰越金などを計上するほか、財源調整として合併振興基金からの繰入金を減額する

▼議案第65号 公共下水道特別会計補正予算(第1号)

今年度で終了する公共下水道施設運転管理業務委託に関し、引き続き複数年で委託を行うため、後年度における負担の限度額を定めるもの

▼議案第66号 介護保険特別会計補正予算(第1号)

国・県等に対する介護給付費負担金返還金9358万2000円を措置するほか、平成28年度決算剰余金1億2841万3000円を介護給付費準備基金に積み立て、予算の総額を89億2499万5000円とするもの

▼議案第67号 工事請負契約の

締結(綾歌中学校他プール改築工事)

工事請負契約を株式会社池田工務店と締結することについて、議決を求めるもの

▼議案第68号 工事請負契約の締結(綾歌市民総合センター他耐震改修工事)

工事請負契約を豊嶋建設株式会社と締結することについて、議決を求めるもの

▼議案第69号 物品の購入(消防ポンプ自動車CD-I型)

物品売買契約を株式会社岩本商会高松支店と締結することについて、議決を求めるもの

▼議案第70号 財産の取得(旅客船兼自動車航送船「ほんじま丸」)

既存の旅客船兼自動車航送船「ほんじま丸」の購入のため、地方自治法施行令の規定に基づき、本島汽船株式会社と内航船舶売買契約を締結することについて、議決を求めるもの

▼議案第71号 市有財産の無償貸付け(旅客船兼自動車航送船「ほんじま丸」)

本島汽船株式会社に「ほんじま丸」を無償貸付けするため、議決を求めるもの

▼議案第72号及び議案第73号 新たに生じた土地の確認、町の区域への編入(昭和町)

土地開発公社が昭和町地先において施行した公有水面埋立事業により生じた土地を確認し、昭和町の区域に編入するもの

▼議案第74号 香川県広域水道企業団の設置

香川県広域水道企業団の設置に関し、関係地方公共団体と協議することについて、議決を求めるもの

▼議案第75号 一般会計補正予算(第3号)

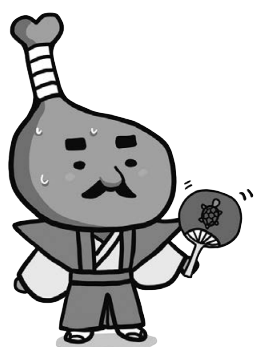
衆議院の解散に伴い執行される総選挙の経費を措置するもの

▼議員提出議案第2号 議場国旗及び市旗掲揚条例

国旗及び市旗を議場に掲揚することを定めるもの

▼議案派遣第2号 議員派遣について

議員派遣について、議決を得るもの



平成29年9月定例会

審議した議案とその結果

議案番号	認定第1号	議案第62号	議案第63号	議案第64号	議案第65号	議案第66号	議案第67号	議案第68号	議案第69号	議案第70号	議案第71号	議案第72号	議案第73号	議案第74号	議案第75号	請願第7号	議員提出議案第2号	議員派遣第2号
審議結果 議員名	不認定	可決及び認定	可決及び認定	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	不採択	原案可決	原案可決
1 武田 孝三	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
2 竹田 英司	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
3 東 由美	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
4 中谷真裕美	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○
5 神田 泰孝	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
6 岡田 剛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
7 大西 浩	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
8 香川 勝	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
9 三宅 真弓	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
10 川田 匡文	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
11 真鍋 順穂	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
12 松永 恭二	議長のため採決に参加せず																	
13 多田 光廣	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
14 横田 隼人	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
15 小橋 清信	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
16 横川 重行	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
17 松浦 正武	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
18 加藤 正員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
19 山本 直久	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
20 大前 誠治	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
21 福部 正人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
22 内田 俊英	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
23 水本 徹雄	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
24 国方 功夫	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
25 片山 圭之	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○

○：賛成、●：反対 ーは除斥または欠席した者です。

一般質問

17人の議員が市の考えを問う



質問者・項目 太字の項目は本文中に要約文を掲載

竹田 英司

- ①飯山総合運動公園空調設備
- ②公園の整備

東 由美

- ①離島振興

香川 勝

- ①綾歌町3小学校の夜間校庭開放事業②包括的契約とアウトリーチと社会的包摂

加藤 正員

- ①地域担当職員制度②待機児童③ボートレースまるがめ

真鍋 順穂

- ①米の生産調整の見直しに合わせた米の直接支払交付金廃止等に伴う今後の本市の農業振興施策②市庁舎等整備に合わせた中心市街地の活性化及び飯山・綾歌並びに旧丸亀南部地域のバランスある発展のための施策

水本 徹雄

- ①本市における暑さ対策の今

後の取り組み②育児用品の充実

による子育て応援③高齢者におけるタクシー利用の充実化④本市の子ども読書活動推進に向けた取り組み

武田 孝三

- ①放課後留守家庭児童会（青い鳥教室）②原田、新田、上分市営団地の活用方法③歴史文化財の保存

川田 匡文

- ①健康都市まるがめ②恒常的な婚活支援③四国新幹線導入に向けて丸亀市の対応④丸亀駅北地区再開発

横川 重行

- ①人口減少とこれからの市政運営②スポーツ施設の充実

内田 俊英

- ①職員の能力構築と組織風土の革新②「香川せとうちアート観光圏整備計画」の推進③下水道区域でも合併処理浄化槽で「万

一の備え」を

横田 隼人

- ①コミュニケーションセンター整備②消防屯所整備③こども未来計画④幼児教育無償化⑤学校教育

小橋 清信

- ①組織機構②公園管理③丸亀城石垣修理④うちの港ミュージアム⑤中津万象園

国方 功夫

- ①学校教育②御殿屋敷のプロジェクト及び基金の創設③新明倫館の決算報告④市道の使用許可⑤日曜市の必要性⑥職員採用のあり方

松浦 正武

- ①公共交通利用促進②農業振興

大西 浩

- ①児童・生徒のスマホ利用学習②ストレスチェック（働き方改革）

神田 泰孝

- ①丸亀市放課後留守家庭児童会

中谷真裕美

- （青い鳥教室）運営の仕掛け②全国瞬時警報システム（Jアラート）の周知③公衆トイレの整備に伴う管理の一元化④香川丸亀国際ハーフマラソンの差別化を図る仕掛け

- ①給付型奨学金制度を丸亀にも②業務継続計画の視点から環境整備を③非常時を含めた安心の水道に

議会を

見に来ませんか

本市議会では、定例会が3月、6月、9月、12月の年4回開催され、本会議は通常午前10時に開会します。

会議の当日、手続きをすれば、どなたでも傍聴できます。

詳しくは議会事務局へ
(TEL 24-8828)

次回の定例会は12月上旬に開会予定です。

人が集い交流できる 公園の整備を

Q 竹田議員 地域における公園の必要性に対する行政の考え方と、公園を整備するためのプロセスについて示されたい。

A 市長 公園は周辺住民が身近に利用できる交流の拠点となる場であるとともに、災害発生時には、避難場所として地域の防災拠点となるなど、多目的な機能を有しており、必要な施設であると考えている。今後、市内全体でバランスのとれた公園配置となるよう整備を進めたい。

公園を整備するためには、行政と地域住民が共同で候補地の選定や整備内容等について協議検討を進め、整備計画をまとめた後、財源の確保をした上で公園用地を取得し、公園の整備工事を行うこととなる。

離島航路の運賃 夏季限定で社会実験を

Q 東議員 島の人口減少対策や活性化施策として、まずは離島航路の運賃を夏季限定で片道2

00円にする社会実験を行ってみてはどうか。

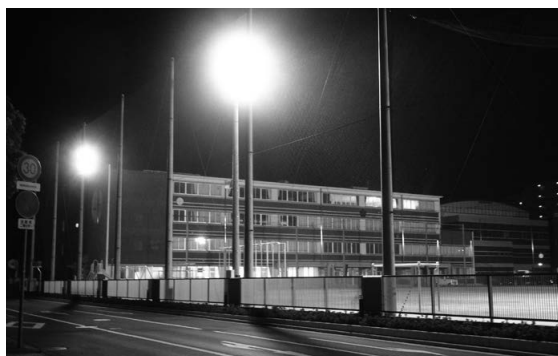
A 生活環境部長 仮に社会実験を行った場合、運賃の減収分は市が負担することとなる。また、本島―丸亀、広島―丸亀間の航路は国の補助対象航路として認定を受けていることから、国、県との協議も必要になる。したがって、社会実験の目的や利用料金、実験の時期、手法について検証し、実施の可否について判断すべきと考えている。離島航路は島民の生活や島の活性化に大きく関わっているの

綾歌町の小学校に 夜間照明を

Q 香川議員 市民活動や学校教育の観点から、小学校校庭には夜間照明が絶対に必要と考えるが、綾歌地区の小学校3校には、いずれも照明設備が設置されていない。この状況を市はどう考えるのか。

A 教育部長 市民活動に校庭を開放して交流の場を提供することは、地域活性化のためにも重

要なことであり、活動を広げる上でも夜間照明の設置が望ましいことは認識している。しかし、照明を設置する際には、近隣住民の理解を得る必要があり、また、相当額の財源も必要となる。地域住民の要望及び周辺住民や田畑所有者など関係者の同意が確認でき次第、財源確保に努めたい。



小学校の夜間照明

待機児童解消に向けた 保育士確保策は

Q 加藤議員 待機児童解消に向けて、これまでどのような取り組みを行ってきたのか。また、保育士確保策についてどのような

考えているのか。

A 市長 保育所、幼稚園の認定こども園移行による定員拡大や、民間保育園の定員拡大、小規模保育事業所の開設などにより待機児童解消に努めてきた。

保育士確保策としては、県やハローワークなどが開催する保育士を目指す学生や保育士資格を有する方への就職相談会での就職勧誘を行うほか、本市独自の施策として、保育現場への就職不安を解消するための1日保育士職場体験を開催している。これらの取り組みにより保育士の確保につなげたい。

中心市街地活性化計画と まちづくりのバランス

Q 真鍋議員 中心市街地活性化基本計画を策定し、国の認定支援のもとコンパクトな中心市街地の再生を目指すこと、あわせて市南部地域のバランスある発展に向けた都市基盤整備の考えを伺う。

A 市長 現在策定中の立地適正化計画において中心市街地活性化を目指すとともに、市庁舎等の整備に対する国の支援を受け

たいと考えており、当分の間は中心市街地活性化基本計画の認定申請は見合わせたい。

飯山、綾歌、旧丸亀南部地域の都市基盤整備は、都市計画マスタープランに基づき、市全体を見渡し、地域ごとの生活拠点の形成やネットワークの強化といった観点から着実に進めたい。

ふるさと納税活用で 子育て支援充実を

Q 水本議員 子育て支援の一環として、希望者に育児用品を貸し出す子育て応援育児用品貸出事業が行われているが、さらなる充実のため、ふるさと納税の寄附メニューに子育て支援に特化したものをつくり、貸し出し用の育児用品の購入に充ててはどうか。

A 市長 現在、ふるさと納税メニューのうち、「保健福祉を充実する事業」を指定していただけでなく、寄附金を子育て支援事業に充当できるが、子育て支援に特化した新たなメニューの創設により、本市の特色ある事業を全国にアピールでき、寄附者の増加につながると考えられるの

で、子育て支援の新メニュー創設を進めたい。

市営住宅 効率的な整備を

Q 武田議員 原田、上分、新田の市営住宅は老朽化しているが、団地を集約化して効率的な整備を行うとともに、集約化で空いた土地の民間活用を進めるべきと考えるが、市の考えは。

A 市長 新田及び上分団地は、入居者の事情に配慮した上で他の市営住宅などへの住み替えを進め、将来的には用途廃止する。原田団地は、用途廃止した団



市営原田団地

一般質問

地の集約、統合を図るための中核団地と位置づけ、建て替えを実施する方針としている。しかし、入居者には様々な事情があり、集約化は一朝一夕には進まないと考えている。

用途廃止後の空き地利用については、民間活用も視野に入れ、最善策を検討したい。

インフルエンザ 予防環境の整備を

Q 川田議員 寒くなるとインフルエンザの流行が懸念される。インフルエンザを予防する環境の整備が必要と考えるが、予防接種の無料化や義務化などの取り組みを行う考えはあるか。

A 健康福祉部長 予防接種費用の補助は、予防接種法で定期予防接種に定められた種類や対象者に対して行っている。インフルエンザは、65歳以上の方などの一部の対象者を除いて任意接種の扱いとなり、全額自費での接種となるため、無料化や義務化は今後の国の動向を見ながら対応したい。また、ふだんからの手洗い、うがいなどの感染症の予防対策は大変重要であるの

で、今後も市民への周知啓発に努めたい。

スポーツ施設 充実の考え

Q 横川議員 スケートボード、ボルダリング、マウンテンバイクなどの競技場を綾歌総合運動公園や綾歌森林公園に設置できないか。

A 生活環境部長 多くの市民が利用する公園や体育施設内に、専門性の高い競技用具を設置するには、安全対策や維持管理経費など財政面を含めた多くの課題があり、何より周辺住民の協力が大切である。自然環境の変化への考慮や、総合運動公園整備計画の見直しには県の承諾を得る必要があることを勘案すると、専門性の高い競技に特化した施設の整備を直ちに行うことは現時点では困難ではあるが、他の候補地を含め今後の検討課題としていきたい。

人材育成基本方針 改定で若手育成を

Q 内田議員 本市人材育成基本



議場で研修を受ける新入職員

方針を、若手職員の能力開発に主眼を置いたものに改定し、職員が個人としても組織としてもより意識を高められるものに再編してはどうか。

▲市長公室長 現在の基本方針は改定から3年が経過し、特に研修のあり方について見直しの時期に来ていると認識している。研修成果を組織で共有できるシステムづくりや、職員の意欲を評価する手法も研究した

い。若手職員の育成として、メンター制度の導入を進めることにしている。人材育成は、非常に評価の難しい事業であるが、仕組み、運用方法は常に見直しを行い、協働時代に対応できる職員の育成に努めたい。

行財政改革で

幼児教育無償化を

□横田議員 行財政改革を断行することで財源を確保すれば、国に先立ち就学前全児童の教育費無償化を実現できると考えるが、市の見解は。

▲こども未来部長 本市では、毎年低年齢児を中心に私的待機児童が発生しているので、まずは保育、教育施設を整備しながら保育士確保に努めることで、待機児童の早期解消を目標としている。幼児教育無償化の実現には、毎年6億円超の財源確保が必要となるため、現時点では待機児童の解消に向けた施策を行うとともに、今後の国の動きを注視しながら、引き続き国・県の施策にあわせた保育料無償化の実現につなげ、子育て世代の負担軽減に努めたい。

機構改革で

社会教育の再編を

□小橋議員 平成23年の機構改革によって、社会教育の執行をそれまでの教育委員会から市長部局に移したが、その結果本市の社会教育は学校教育と分離され大きく後退したのではないかと。今後、教育委員会が社会教育を行うよう組織の再編に取り組む考えはあるか。

▲市長 社会教育を市長部局で行うことで、地域と教育の連携による地域の活性化など一定の成果があった。一方、学校教育だけでなく社会教育、生涯学習に教育委員会が一体的に取り組むことにも相当の意義がある。これからの社会教育部門のあり方は、関係者の意見をいただきながら、新庁舎の建設も踏まえ柔軟に検討していきたい。

御殿屋敷の復元

基金の創設を

□国方議員 丸亀城の御殿屋敷復元の早期実現のため、プロジェクトの立ち上げや基金の創設

を行ってはどうか。

▲教育部長 御提案のプロジェクトは、発掘調査や資料収集などで御殿屋敷復元の条件が整った際に先進事例を参考に設置し、基本計画や実施設計、御殿復元にあわせた歴史博物館の整備などについて協議を進めたい。基金創設は、ふるさと丸亀応援寄附金において史跡等整備基金があることから、当面は行わないが、プロジェクトの中で検討したい。また、復元が具体的に進むようになった際には、基金だけでなく募金やグッズの販売などの手法も検討し、財源の確保に努めたい。

コミュニティバス

利便性向上の取り組み

□松浦議員 バスの位置情報や運行情報をスマートフォンなどで検索できるシステムの普及が進んでいるが、本市コミュニティバスに導入する考えはないか。

▲市長 バスロケーションシステムの導入によって、利用者がおおよそのバス到着時刻を把握できるようになるほか、乗り継ぎ情報などの提供が可能にな

り、利便性向上に有効な手段であると考えている。現在、運行事業者と協議を重ねており、機器の選定や国の補助を受けられるよう準備を進めている。今後、運行事業者と協力しながらシステムの導入に向けた取り組みを継続し、さらなる利便性の向上を図りたい。



バス停を通過するコミュニティバス

子供のネット依存 どう対策する

【大西議員】今年度、インターネットに接続できる機器の所持状況調査を、全市立小中学校を対象に行うとのことだが、どのような内容か。また、子供のネ

ット依存対策として、どのような取り組みを行っているのか。

【教育長】小学4年生から中学3年生までの児童生徒と保護者を対象に、機器の所有率、使用時間やネット上での困ったことなど、現状や意識について調査を行う予定であり、結果を分析し、今後の情報モラル教育や啓発活動のための基礎データとして活用したい。ネット依存への対策には、家庭でのルールづくりなど保護者の理解と協力が必要なので、懇談会や家庭訪問の機会に啓発を進めている。

公衆トイレ 管理の一元化を

【神田議員】現在、公衆トイレは複数の課が管理を行っているため、改修や整備にばらつきがある。管理を一元化し、快適な公衆トイレの提供を行うべきではないか。あわせてネーミングライツの導入を検討する考えはないか。

【生活環境部長】本年度策定中の次期行政改革プランの策定にあわせて、維持管理業務委託の一元化による経費の削減効果な

一般質問・条例可決

どの検証、検討を進めていきたい。ネーミングライツの導入は、新たな財源の確保、施設の地名度とサービス向上が期待できることや、最近では大型施設以外に、駅や公衆トイレ等にも導入されていることから、効果等について十分に検討したい。

非常時にも安心できる 自己水源維持を

【中谷議員】水道広域化で前提となっている自己水源の廃止統合は、災害・渇水時の水の安定供給に逆行している。自己水源を縮小してはいけないと考えるが、なぜ市内5箇所もの自己水源廃止を了承したのか、市長の見解を伺う。また、非常用水源として確保しておくとのことだが、財政的な裏付けはあるのか。

【市長】広域化により県内全域で効率的な水運用が図られ、必要な水量が確保できた後、市内5箇所の水源は予備水源として引き継がれる予定である。これは広域化の準備協議会で検討を重ねた結果である。非常時の予備水源の維持管理費用については、予算化を行いたい。

議場国旗及び市旗 掲揚条例可決

議場に国旗、市旗を掲揚することを定める議員提出議案が可決されました。

議案は横田隼人議員が提出者となり、17名の議員が賛成者として連署しました。

10月5日の本会議では、提出議員からの提案理由の説明の後、委員会付託を省略して審議が行われました。議案に対する質疑はなく、討論の後、起立による採決の結果、賛成多数で可決しました。

討論

《反対討論》 中谷真裕美

民主主義の柱となる議会に、様々な捉え方をされている国旗を掲揚することはふさわしくないと考えるので反対する。

《賛成討論》 国方 功夫

国も国旗国歌法を制定している中、議場に国旗・市旗を掲揚していない市は県内では本市だけである。国民、市民の一人として賛成する。

解説

決算審査

9月定例会最終日の採決で、平成28年度一般会計及び各特別会計の決算は不認定となりました。ここでは決算認定の意味、不認定になるとどのような影響があるのか説明します。

決算の認定とは

予算が一般会計年度における収入、支出の見積もりであるのに対し、決算は収入、支出の実績であり、結果です。決算の認定とは、議会がその内容を審査した上で、収入、支出が適法かつ正当に行われたかどうかを確認することです。

決算の審査に当たっては、法令等に対する適合関係にとどまらず、①前年度決算との間に不一致がないか、②予算審議段階で明らかにされたところと実際の執行結果はどうか、③期待された行政効果は達成されたかなど、幅広い検討が望まれます。

さらには、その年度限りでなく、将来の展望に立った総合的審査を行うことが求められます。

本市議会では、9月定例会会期中に、議長、議員選出の監査委員を除く全議員で構成された予算決算特別委員会において、

審査を行い、その結果をもとに本会議にて認定、不認定の採決を行っています。

決算が不認定となった場合

決算審査の結果、議会としてこれを不認定とすることもありますが、不認定となった場合、税金の使い方に問題があるとされた意味での市長の政治的、道義的責任が問われるかもしれませんが、既に行われた予算執行の効力には何ら影響しないものと解されています。

次年度予算に向けて

決算の審査結果を次年度予算に反映させるという趣旨から、本市議会では提言書を取りまとめ、市長に提出しました。

市長には、この提言を次年度予算編成に反映するよう求めています。

(参考)「地方議会運営辞典 地方議会運営研究会(編集)」

議会の動き 7・8・9月

7月

- 3日 全員協議会
- 4日 行財政改革特別委員会
- 5日 教育民生委員会行政視察(7日まで)
- 11日 生活環境委員会行政視察(13日まで)
- 14日 議会運営委員会
- 24日 都市経済委員会行政視察(26日まで)
- 25日 総務委員会行政視察(27日まで)
- 28日 議会改革特別委員会
- 31日 議会運営委員会

8月

- 8日 広報広聴委員会
- 18日 各派会長会
- 24日 全員協議会
- 25日 議会運営委員会
- 29日 議会改革特別委員会
- 31日 市庁舎及び市民会館整備等特別委員会
- 各常任委員会協議会
- 広報広聴委員会

9月

- 1日 定例会初日(10月5日まで)
- 1日 予算決算特別委員会
- 5日 行財政改革特別委員会
- 6日 都市経済委員会
- 6日 都市経済委員会協議会
- 教育民生委員会
- 市庁舎及び市民会館整備等特別委員会
- 生活環境委員会
- 生活環境委員会協議会
- 総務委員会
- 15日 広報広聴委員会
- 19日 行財政改革特別委員会
- 20日 予算決算特別委員会(26日まで)
- 27日 議会改革特別委員会
- 28日 行財政改革特別委員会
- 29日 議会運営委員会
- 市庁舎及び市民会館整備等特別委員会

編集後記

今年は丸亀城築城420周年という節目の年です。

9月24日の「丸亀城420フェスタ」を軸に「キャッスルロード」や「武士の装い展」など多彩なイベントが行われ、大勢の方が来城されました。

特に、ここ数年の刀剣ブームにより、全国各地から「刀剣女子」が集まり、「ニッカリ青江特別展」には最大2時間待ちの長蛇の列になることも。

展覧会から出てきた「刀剣女子」の皆さんは、思い思いに感嘆の言葉を述べられていました。その後、登城した際には、「ニッカリ青江」と同等か、それ以上の感動を覚えた方も多かったようです。特に石垣は初見の方も多く、扇の勾配の美しさに日本一を感じていただけたのではないのでしょうか。

我々議会も、丸亀をさらに元気にするため、これからも皆様と共に「丸亀城の石垣」のように一歩ずつ積み重ねてまいります。

広報広聴副委員長 神田泰孝

総務委員会

7月
25～27日

川崎市
葛飾区
ポートルース
平和島

川崎市公文書館

公文書の保存・管理の重要性に対する関心が高まっています。川崎市では、早くから公文書館を設置し、文書管理や情報公開のルールづくりに取り組んでいました。今回、公文書館を視察し、膨大な量の文書保存の手順や歴史的文書の選定方法などの説明を受けました。公文書館の設置には費用面など様々な検討が必要ですが、文書管理の



川崎市公文書館で文書保存の説明を受ける

あり方など、多いに参考となりました。

おもてなしサービスができる職員の育成

葛飾区では、事務の手順など職員の知っておくべき内容を記載した「若手職員ハンドブック」を若手職員に配付しています。これにより全職員が統一された意識で職務に当たることができ、適切でスピーディな事務執行や窓口業務につながっています。また、職員提案の研修実施など、職員育成に努めています。すべては区民サービスのためという高い意識を、本市にも取り入れたいと感じました。

ポートルース平和島

ポートルース平和島の現状や本場入場者増加への取り組みについて説明を受けました。この競艇場も本場入場者や新規顧客の獲得に力を入れています。本市の取り組みにも期待したいと思います。

都市経済委員会

7月
24～26日

上田市
長野市
大津市

市民会館の建設経緯・利活用

上田市交流文化芸術センター・上田市立美術館「サントミューゼ」を視察しました。広く市民が集える場所というコンセプトでの施設整備、運営の手法は、本市の市民会館の建て替えを検討する上で参考になるものでした。

リノベーション (善光寺周辺地区)の 成り立ち、現状について

既存の建物を改修し、用途や機能を変更して付加価値を与えるリノベーション。空き家対策やまちの再生の手法として注目されています。本市でも中心市街地などで、リノベーション構想の策定を計画しています。長野市での民間主導のリノベーション（街並みを大事にし、古い空き店舗を活用したカフェなど）のあり方は、大変参考になりました。



長野市でリノベーションまちづくりを視察

新水道ビジョンの策定経緯

大津市の水道施設の更新計画などの説明を受けました。本市は水道広域化を予定しておりますが、本市と同様に人口減少、施設の老朽化が進む大津市の取り組みは参考になりました。

教育民生委員会

7月
5～7日

所沢市
足立区
富士宮市

所沢市の

学校給食における食育

所沢市の学校給食は、直営の学校給食センターでの調理が6割、残りは委託や直営での自校調理を行っています。強化、学級活動等での担任と連携した指導に加え、栄養士、調理員の授業参加、更に学校給食センターでの親子料理教室や食育フォーラム、学校給食展等を通じ、食



所沢市で食育の説明を受ける

育の能動的推進が図られています。

子供の貧困対策について

足立区では貧困家庭や子供を孤立させないため、「教育・学び」「健康・生活」「推進体制の構築」の3つを柱として81の事業で貧困対策に取り組んでいます。特に、ひとり親家庭を重点的に支援するなど、早期発見、早期支援に努め、虐待、不登校、非行への負の連鎖の抑止への取組みが進められています。

福祉総合相談の取り組み

富士宮市が平成18年度の介護保険法改正に基づき設置した地域包括センターを基盤とする福祉総合相談窓口は、現在、福祉総合相談課として福祉の一元化を図り、市民福祉の向上に寄与し、多大な成果を挙げていました。

今回の視察で訪問した3市の取り組みは、本市の政策形成の参考となりました。

生活環境委員会

7月
11～13日

熊本市
久留米市
鳥栖市

熊本地震での救助活動

災害対策について熊本市を視察しました。熊本地震の被害状況や救急活動についての説明を受けました。被害が広範囲に渡る場合は近隣の自治体の応援が不可欠であり、応援協定の重要性を再確認しました。



熊本市で震災当時の状況について説明を受ける

コミュニティ活動

久留米市は校区ごとにコミュニティ組織があります。各地域の福祉や防災などについての取り組み状況は本市と同様ですが、①コミュニティセンターが民設民営である点②コミュニティ運営に対する財政的支援の厚さなどに相違点がみられました。自治体主導ではなく、地域主導の施策は大変興味深いものでした。

スポーツ振興の取り組み

鳥栖市では、スポーツを通じたまちづくりの取り組みについて視察しました。サガン鳥栖は「サガン鳥栖支援アクションプラン」を毎年策定し、アウェイ応援ツアーや周辺市町と連携した共同観戦を行っています。まち全体のイメージ戦略やホームタウン事業は、今後の取り組みの参考になりました。

常任委員会では、市勢発展に資するため、先進事例を視察し、調査・検討を行っています。

丸亀市議会より開催のお知らせ

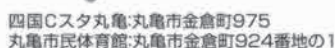
意見交換会

丸亀市生涯学習センター5階小ホール

丸亀市民体育館会議室

四国Cスタ丸亀会議室

飯山総合学習センター研修室



主催:丸亀市議会 お問い合わせ:丸亀市議会事務局 TEL.0877-24-8828